

たけ した もと こ
竹下元子さん

NPO(特定非営利活動)法人
ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本理事長
熊本県菊池市男女共同参画専門委員
母子自立支援施設カウンセラー
熊本大学非常勤講師

PROFILE

球磨郡多良木町生まれ。フェミニスト心理カウンセラー。講座や女性学講座、講演会、研修講師を務めるほか、熊本日日新聞人生相談コーナー・熊本日日新聞紙面月評執筆経験も。

もともと
持っている力を
回復していかれるのが
カウンセリングの場だと
思います

NPO法人ウィメンズ・
カウンセリングルーム熊本

熊本市中央区水前寺6-11-27
チェリーハイツ1F
TEL: 096-381-8831
URL: http://www.geocities.jp/wikan_kumamoto/

一カウンセリングルームを立ち上げた経緯を教えてください。

竹下 「ふぁみ熊本」という女性問題の学習グループを立ち上げ、女性問題について考え学ぶ活動を友人と共にやっていました。そこで、職場や家庭、地域などのあらゆる場面で悩み苦しむ、生きづらさを抱えている女性たちの姿が見えてきたのです。

そうした女性たちが抱える問題の受け皿の必要性を強く感じて、1996年に援助者を育てるためのフェミニストカウンセラー養成講座を始めました。

一活動の中で感じていることは？

竹下 カウンセリングにいらっしゃる皆さんは元々ご自分の人生を生き抜いていく力をお持ちです。それが

社会のシステム、女らしさや男らしさなどで縛られ、抑圧され、疎外されている。それで、とても生きづらい思いをしてこられた。カウンセラーの役目は、そんな中で努力しながら生きてこられたクライアントさんが持っていらっしゃるご自身の力を回復していかれるときの伴走者です。

一女性問題に取り組むきっかけは。

竹下 子どものころから男女に関係なく、一人の人間として見てほしいという思いが強くありました。それは、女としての自分を認めたくなかったことにつながっていて、自分が女性であることから目をそらしていたんですね。あることをきっかけに、女性としての自覚に立った上で、自分のことも含め、女性の問題を考えていく必要を感じたのです。

一活動の原動力は何でしょうか。

竹下 女性が不当に扱われている社会の習慣や制度に対する忤怩(じくじ)たる思いや怒りです。怒りは生きる力にもなれば、行動の原動力にもなります。そうした負の感情が私たちを動かすのだと思います。

ご自分の感性を大切にしてください。あなたが「変だ」とお感じのことは、他にも同じように感じている方がいらっしゃるかもしれません。



2014年	2013年	2012年	2010年	2008年	2005年	2004年	2001年	1997年	1996年	1991年
国際ソロプチミスト熊本「女性荣誉賞」受賞	講座「事業を受託」	鹿児島県曾於市「女性と子どものサポーター養成講座」事業を受託	熊本市母子自立生活支援施設カウンセラー。配偶者からの暴力被害者支援アドバイザー(内閣府)	熊本市母子自立生活支援施設カウンセラー。	熊本県弁護士会セクシャル・ハラスメントの禁止に関する規則に基づく調査委員会委員	菊池市男女共同参画専門員	熊本大学非常勤講師	ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本を立ち上げる	ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本がNPO法人認証を受ける	友人と学習グループ「ふぁみ熊本」を立ち上げる

輝きの軌跡

竹下元子さんのキャリアストーリー